



## CREATE HOPE in the WORLD

# クラブ週報

五城目ロータリークラブ

○ クラブ広報委員会

(本年度第4回例会)

◎ **四つのテスト**

**夕食例会**

第 2 7 3 1 回例会  
会  
令和 5 年 8 月 1 7 日



☆ 点鐘

◎ ローターソング : 我等の生業

◎ 会長の時間 : (伊藤副会長)

..皆さんこんばんは。ようこそお出で下さいました。毎日暑い日が続いておりますが、昨日は37.7度で、全国一暑かったニュースがありました。あまり良いニュースではないですが、熱中症に罹らない様に体に気を付けて、元気に過ごしてください。以上です。

☆ 幹事報告 (八木下幹事)

\*先週の公式訪問で、全国のロータリークラブから、第2540地区に**支援金**が送られてきている。被災地へ均等に配分するので、担当クラブで**支援金の使い道**を考えてほしいと言っていました。第2540地区のクラブでも1人2000円の目安で募金お願いします。川村会員以外の方、今日お願いします。\*山本ロータリークラブ創立50周年記念祝賀会が9月30日(土)森岳。森山館で、午後2時より。齊藤会長が出席します。\*次週24日の例会は丸富さんの都合で休会になります。31日通常例会です。

☆ 2023年 秋田県の記録的大雨 (川村会員)

..7月14日~15日にかけて、秋田県内での記録的大雨で、秋田市や五城目町で大規模な浸水被害がありました。五城目町では、床上浸水399戸、床下浸水200戸や、駐車場、作業小屋など多数の浸水被害がありました。

我が家も、床上浸水62cmで、1階部分の家具類や家電製品、車庫に置いてあったゴルフ用品(ジャンパー類やキャディバッグ3本など)が廃棄処分されました。被災から1カ月が経過して、ようやく後片付けが終わり、工務店に依頼してある修繕を待つ段階まで進捗しました。

五城目町の雨量観測記録によれば、今回の記録的大雨は、昨年8月の24時間雨量と同レベルのものでした。昨年の経験から、馬場目川の河川水位は同じ位と想定しておりましたが、河川工学や治水事業を担当する土木技術者として、過去に経験した技術的知識を過信していました。私は、洪水被害には、「本家の災害」と「分家の災害」の二つがある、提唱しております。

私の家のお墓は、殊巖院(通称・川寺)です。今回の水害で、お墓も半分ほど水没しました。この被災状況が、今回の水害を見事に物語っております。「分家の災害」ということです。川寺の本堂や位牌所、それに歴史の古い檀家のお墓は、一段高い所にあります。高台の墓域が手狭になり、一段低い土地に墓域を造成しました。この部分が水没した訳です。この墓域に建てられたお墓は、家の歴史が比較的新しい家であることが特徴です。「分家の災害」と呼ぶ根拠です。

歴史的な経緯や古くから伝承されてきた生活の知恵として、お寺やお墓は浸水しない高台に求めました。このような所が浸水した場合、歴史的な大洪水であり、「本家の災害」と呼びます。この場合、壊滅的な打撃であり、町全体の存亡にかかわる危機になります。

このお寺の例を、五城目町の街並みの形成や宅地造成された経緯と重ね合わせてみます。被災された所は、昭辰町、古川町、東磯ノ目、西磯ノ目などです。

昭辰町は大正時代から住宅が立ち並び始めました。戸籍上の正式名称は、高崎字中川原です。元々川が氾濫する河原の地域でした。古川町は、町名のおり昔は川が流れていた地域です。磯ノ目地区は、悪土と呼ばれていましたが、役場の移転や国道285号のバイパス開

通によって最近発展した地域です。地名は、その土地の歴史的経緯や特徴を伝承する大地に刻まれた文化遺産といえます。

街並みの中心部の旧町内では、間口の広い土地を求められない分家の人や、山間地域から移転した人で構成されていると考えられます。（これは私見・持論であり、後日、何らかの形で検証する必要があります）

この水害を忘れ去られないように後世に伝承するため、水害の規模（到達した水位）や被害状況、慰霊を伝える石碑の「自然災害伝承碑」の建立が望まれるところです。

今回の水害で最も残念なことは、増補改訂「物部長穂」に関する、取材メモ、参考資料、参考文献、関連資料がすべて水没し、廃棄処分せざるを得なかったことです。

今年の9月1日は、大正11年（1921）に発生した「関東大震災」から100周年にあたります。地震に強い構造物を設計するにあたっての耐震関係の基礎理論を確率し提唱した、地震学、耐震工学の権威者である「物部長穂」が、社会的に大きな注目を集めます。それを見越して、この本を増補改訂しました。今後「物部長穂」に関する講演会の依頼もあると考え、講演会時に著書を販売して、小遣い稼ぎに200部ほど出版社の好意により手元においておりましたが、この本も廃棄しました。浅はかな考えでした。

以上皆様からの励ましや、親戚や友人の力添え、ボランティアの協力に感謝しつつ、今回の水害の被災状況や感じたことを報告させていただきました。

（川村会員には、心から御見舞い申し上げます。）

☆ ニコニコ（自己申告）

\*川村会員： 上記。\*八木下会員： お盆がようやく終わりました。13日~15日と檀家さんの読経を無事終えることが出来ました。ニコニコしたいと思います。\*伊藤(萬)会員： 今回の災害で全国からボランティアが来まして、私もボランティアをやっても体力もないので、全国から来たボランティアの方から勧められて、私の商売の「手焼き煎餅」を先月の28日、30日にお昼頃、250袋を無料で配りました。無くなったので、その後は「カキ氷」をやりました。これは非常に好評で、全国何処へ行っても、五城目町ほど、こうやって思ってくださいた人は居なかったと褒められました。希望があれば何処へもいきます。ありがとうございます。

☆ 出席率報告

〔出席報告〕 11名中 7名出席 64%  
事前メール0名、申告欠席 4名、病欠欠席 0名

【例会場】 グリーンロイヤル丸富  
〒018-1706 五城目町字下夕町 248  
Tel018-852-2140 Fax018-852-4049

☆ 点鐘（午後6：30）

ロータリー情報

懇親会



8月21日 月曜日 秋 田 さ き が け

礪ノ目の浸水について、  
魁に投稿がありました。

礪ノ目の浸水想定外だったか  
工藤 義隆 殿  
（五城目町議員）  
西條 自明 殿  
川台町の地帯を言って  
「あ〜」と嘆息。五城目  
町議入自選は、長く歴  
土あ〜と叫ばれてい  
た馬場川沿いの町上り  
なりの水害が起きてし  
た。それも、短期間で  
本町が水害を避けたた  
り。水害にたぎもたぎ  
町の被害額は約億単  
万円に上った。か  
し人的被害はなかった  
ためか、その事象が記  
憶に残ってなかった。  
82年、現地に建設課  
が新築・移転し、周辺は新  
興地にして建設が進ん  
だ。当初は教育が主で  
目地の用途が商業地  
で、80年代前半には現  
在の人口を越えること  
になった。この水害  
は、ほぼ垂直浸水、  
その水圧は、  
超える、まさに壊滅的結  
核

とはいえ、人的被害が  
複合的結合で起きた  
災害と言えぬ痛ない  
町民は、後述に手  
を注いで、それ同  
時にこれほどの経歴を  
原因の検証を徹底進  
め、後の動にしてい  
く。私と貴君は、後月  
付にこれだけのもの  
つとも、お話を再来に  
おひさし。

戦時中、国策に従っ  
た私は、戦後のため  
に共反戦運動して大  
罪をまいた。の級が、ま  
た入った。選出  
たとき、90年代後半  
に、30年を、既に半  
終った。30年の月  
一重た、たわに海  
に、たかを、たか入

〔杉を讀み98年〕  
藤 昌久 殿  
羽生町副選

『ロータリーの友』電子版を読みたい方は  
下記のID・パスワードをお願いします。

電子版のID・パスワードです	
ID	2540-00686
パスワード	00686-231

インボイス登録番号  
T4-0104-0500-8724  
一般社団法人  
ロータリーの友事務所  
105-0011  
東京都港区芝公園2-6-15  
黒龍芝公園ビル4階  
TEL: 03-3436-6651  
FAX: 03-3436-5956